

「RESAS」を活用した地域の経済動向分析報告書

令和7年3月 宝達志水町商工会

1. はじめに

本分析は、当地域において真に稼げる産業や事業者に対し、限られたマンパワーや政策資源を集中投下し、効率的な経済活性化を目指すため、当商工会経営指導員等が「RESAS」(地域経済分析システム)を活用し地域の経済動向分析を行うものです。

2. 地域経済循環マップによる宝達志水町の現状分析

地域経済循環マップとは、都道府県・市区町村単位で地域のお金の流れを「生産(付加価値額)」「分配(所得)」「支出」の3段階で可視化することができるマップです。そして地域経済循環マップ内の「地域経済循環」メニューでは、3段階の経済活動を通じて、お金が循環し、その3つの金額が等しくなることを確認できます。今回は、RESAS 中にある分析手法の一つである「地域経済循環マップ」を活用して宝達志水町を分析いたしました。

■RESAS より検出した宝達志水町の「地域経済循環マップ」

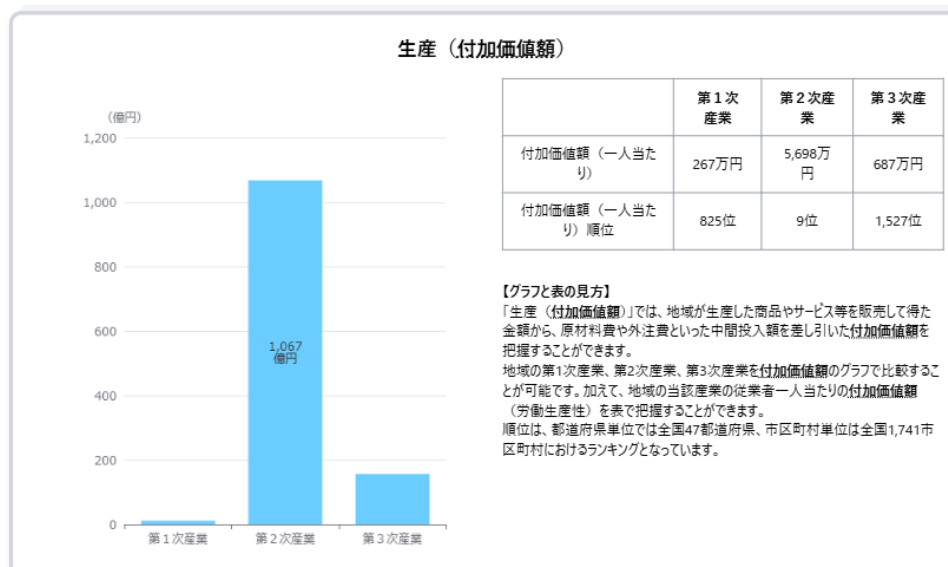


【出典】  
環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託作成)

上記は地域選択で2018年時点での宝達志水町を選択した地域経済循環図です。地域のお金の流れを3段階で可視化することで、地域経済の全体像と、各段階における流出・流入の状況を把握することができます。まず、生産(付加価値額)から分配(所得)に伸びている1,233億円の所得への分配の矢印に注目します。この金額は、宝達志水町が「どれだけ稼げているか」とい

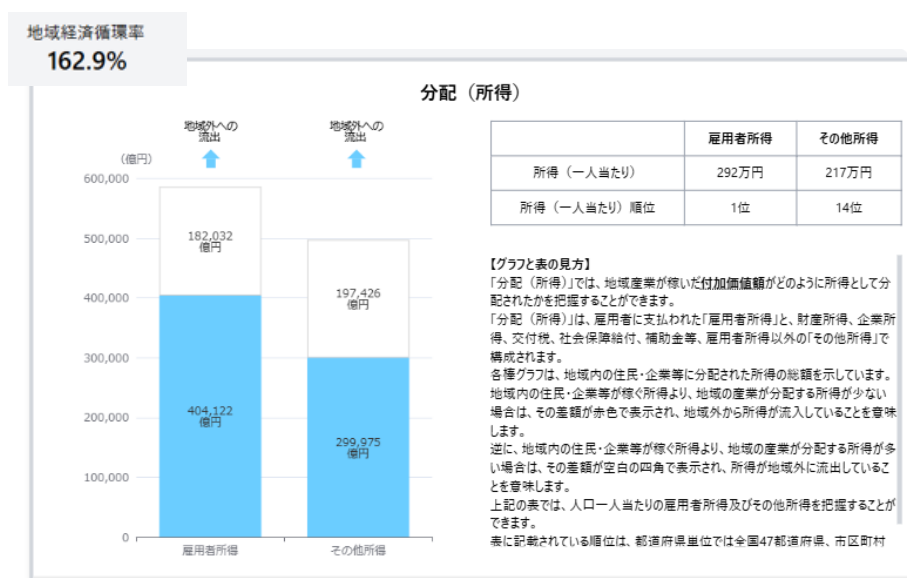
う数値であり、儲けを産み出す力を示す数値となります。一般的に地域の経済を活性化することを考える場合は、いかにしてこの数値を高めるかに重点が置かれます。他年度と比較すれば、経済力が強まったのか弱まったかが比較可能となりますが、現時点では2018年のデータが最新となりますので、更新されしだい報告させていただきます。因みに、2015年の生産(付加価値額)は775億円となっています。

## ■生産(付加価値額)について



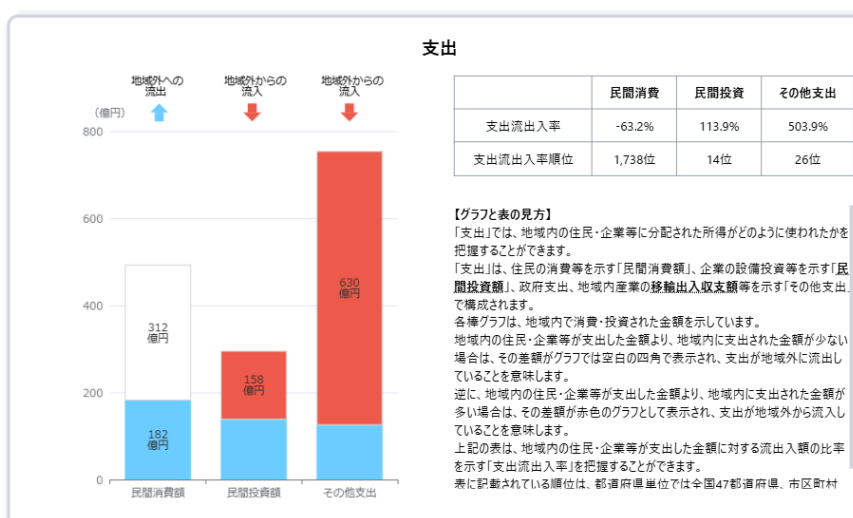
ここでは生産(付加価値額)から分配(所得)に伸びている1,223億円の内訳が分かります。宝達志水町では製造業や建設業などの第2次産業が中心となって地域の儲けを産み出していることが分かります。

## ■分配(所得)について



「地域経済循環マップ」では、雇用者に支払われる雇用者所得と企業所得や補助金などによって得た金額をそれぞれ別に調べる事が可能で、一人当たりの所得やその順位を調べることもできます。宝達志水町はどちらの所得も流出(外からの流入より流出が超過)しており、所得から支出に回すことができているお金が757億円と少なくなっています。ただし、地域経済循環率は所得への分配を所得からの支出で割ったもので、宝達志水町は162.9%となっています。これが100%を下回る状態では、補助金などに依存している部分があるということになります。このことにより、宝達志水町は「流出超過の状態でも経済を循環させることができるぐらい余裕がある」という側面もあります。

## ■支出について



住民の消費である民間消費額が流出超過ということは、宝達志水町にきた買い物客などが宝達志水町内で使ったお金よりも、宝達志水町民が他の市町村まで買い物に出かけて使ったお金の方が多いことを意味し、お金が地域の外に漏れていることを意味します。民間投資及びその他支出では、流入超過で支出に赤い部分が見られます。この部分は他の地域からお金が流入しているということです。民間投資とは企業の設備投資等を示していますので、外から域内企業への資金投資があるということは、投資する側から見て魅力のある企業が域内で活動している。または、事業を行うのに魅力のある地域であると言えます。その他支出は地域内産業の移輸出入額を示しているのので、宝達志水町は「移輸出入によってお金を稼ぐことができている＝物を他の地域に売ってお金を稼ぐことができている」といえます。こうして宝達志水町の域内で使われたお金1,233億円が次の生産にまわり、宝達志水町の地域経済は循環をしています。

### 3. 所感

いかにして地域としてお金を稼ぐかという話をする時に、地域の生産付加価値額を高めるだけでなく、稼いだお金が外部へ流出することを防がなければ、底抜けのバケツに水を貯めるように、いつまでたっても地域にお金が溜まらず、いずれは地域の経済は先細りしていくことになります。

自分の地域が経済活動のどの部分でお金を稼げているのか、そして、どの部分のお金が流出しているのかを地域経済循環図などにより分析することで、地域の強みである部分を伸ばしつつ、苦手な分野は外の地域との取引で補い、地域全体として稼ぎと流入が流出を上回ることを目指す必要があります。

商工会では、現在の状況を示す RESAS の地域経済循環図を地域経済の「健康診断書」として今後も小規模事業者の支援に活用していきたいと思っています。